

NEWS



外国人住民のための日本語教室の授業風景

特集 外国人住民の出産・子育て支援 … P1～2

- 京都府の国際化の現状… P2
- 綾部国際交流協会の取り組み紹介… P3
- JICA京都デスク着任の挨拶、相談窓口Q&A… P4

目次



特集

外国人住民の出産・子育て支援

(寄稿：NPO法人Mother's Tree Japan)

もしあなたが、言葉も文化も異なる国で、誰にも頼れずに出産・子育てをしなければならないとしたら――。

私たちは、そんな外国人女性たちの「不安」を「安心」に変えるために、2020年から豊島区を拠点に、助産師・保健師・小児科医・保育士など日本人の専門職と、17カ国90名を超える外国人ボランティアがチームとなり、出産・育児に寄り添う支援を続けています。

情報不足、言葉の壁、文化・宗教の違い、書類の多さ、頼れる人がいない不安――。日本で出産・子育てをする外国人ママが直面する課題は多岐にわたります。一方で支援者側も、「どう声をかけていいかわからない」「大丈夫」を繰り返されると、それ以上踏み込めない」といった戸惑いや葛藤を抱えています。

出産は、文化や風習、宗教が色濃く表れる場面です。支援が届かない理由の一つは、そうした文化的背景や制度の違いを理解した上で両者をつなげる“架け橋”の不足です。日本のやり方を多言語化して一生懸命伝えても「本当に効果のある支援」に繋がらないことが多々あります。

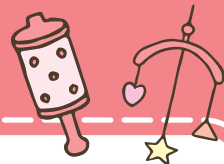
そこで私たちは、外国人の日本でのお産経験がある先輩ママたち・通訳者と専門職が連携し、母国の文化を尊重しながら、日本の制度や地域とつなぐ支援の仕組みづくりを始め、設立以来延べ5,000人以上の妊産婦・育児中の外国人女性に支援を届けています。

外国人ママのための母親サロン
『妊婦・赤ちゃん連れの防災』にて



拠点である豊島区では、保健所・子ども家庭支援センター・地域の団体との協働による官民連携の形「としまモデル」が育っています。「現場に外国人当事者がいること」「文化の違いを理解した専門職がいること」「地域と行政がつながること」の三要素を柱とするモデルとして注目されています。

また今年度は千葉県国際交流センターと連携して外国人を包摂した子育て事業を推進しています。



もう一つ、私たちが目指しているのは「多文化共生の子育て社会」です。日本では「一人で頑張る子育て」が常態化し、若者の間で「子どもを持つこと」への希望が薄れています。一方、アジアの多くの国では母子を地域・家族で支える文化が豊かに根づいており、様々な産前産後の伝統や知恵が生きていて、外国人ママは支援される側だけでなく、そうした文化を日本に伝えてくれる人でもあります。

世界各地の知恵を持ち寄り、違いを認め合う、緩やかで双方向の子育てコミュニティをつくることは、日本の子育て世代にとっても大きな支えになります。

外国人妊産婦の支援とともに、いのちを真ん中に、違いを認めながら支え合える社会づくりも、私たちの大切なミッションです。

誰もが赤ちゃんを笑顔で産んで育てられる未来を、全国の支援者の皆さんと共につくっていかねたらと願っています。

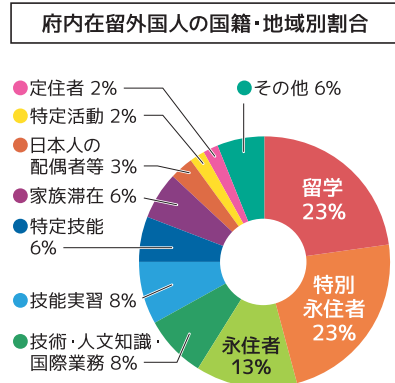
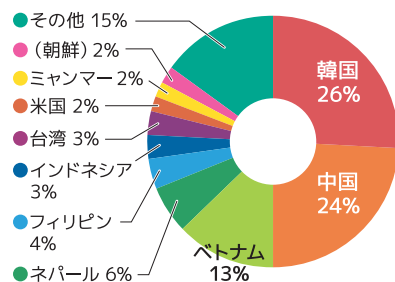
特定非営利活動法人 Mother's Tree Japan 事務局長 坪野谷 知美さん

HP <https://mothers-tree-japan.org/>

京都府の国際化の現状（2024年6月末・出入国在留管理庁）

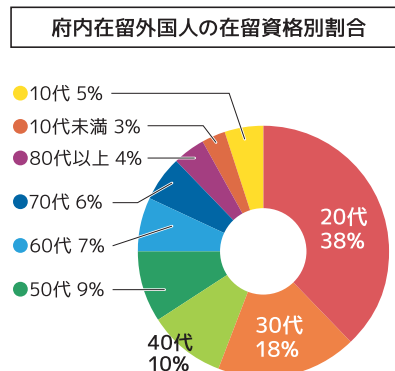
国籍・地域別外国人住民数(上位5カ国)

	国籍	人数	在留資格上位3位まで			
1	韓国	20,811	①特別永住者	②永住者	③留学	特別永住者・永住者が多く、長期定住者が中心。留学生も一定数存在。
2	中国	18,954	①留学	②永住者	③技術・人文知識・国際業務	留学生が最多だが、永住者も多い。専門的な職業に就いている人も多数。
3	ベトナム	10,118	①技能実習	②特定技能	③技術・人文知識・国際業務	技能実習・特定技能が中心で、若年層の就労目的の在留が目立つ。
4	ネパール	4,667	①留学	②家族滞在	③技術・人文知識・国際業務	留学生が多く、日本での進学・就労を目的とする人が中心。就労者の配偶者や子どもなど帯同家族も多い。
5	フィリピン	3,119	①永住者	②特定技能	③定住者	永住者や定住者など家族を含む安定的な在留を目指す層が中心で、特定技能など就労者も多い。



年代別外国人住民数

年代	人数	在留資格上位3位まで			
10代未満	2,596	①家族滞在	②永住者	③特別永住者	日本社会に根差して暮らす子どもたち（特別永住者、永住者）と、就労する親の都合で来日し、日本の生活に適應していく過程にある子どもたち（家族滞在）と、特徴は大きく2つに分けられる。
10代	4,092	①留学	②特別永住者	③家族滞在	
20代	30,197	①留学	②技能実習	③特定技能	就学や就労といった特定の目的のために、比較的短期の滞在を前提とした若い世代が中心。ただ、専門的な職業に就いて滞在している人は、将来的に永住者資格を取得し、定住する可能性も。
30代	14,384	①技術・人文知識・国際業務	②留学	③永住者	
40代	8,414	①永住者	②特別永住者	③日本人の配偶者等	40代以降では、「永住者」「特別永住者」「日本人の配偶者等」がすべての年代で上位3位までを占めている。生活の基盤が日本にあり、永続的な居住が前提。
50代	7,052	①特別永住者	②永住者	③日本人の配偶者等	
60代	5,293	①特別永住者	②永住者	③日本人の配偶者等	
70代	4,649	①特別永住者	②永住者	③日本人の配偶者等	
80代以上	2,940	①特別永住者	②永住者	③日本人の配偶者等	
計	79,617				



京都府内の市町村国際化協会の紹介

綾部国際交流協会 諏訪喜栄子さんにお話を伺いました。



諏訪喜栄子さん

Q1 協会設立の経緯と、当時の外国人住民の状況について教えてください。

綾部国際交流協会は1999年10月、退職された英語教員2名によって設立されました。当初は住民の英語学習支援や綾部の観光案内の英語翻訳など、英語部の活動が中心でした。設立から数ヶ月後、会員の一部から「せっかく日本に来てくれている人のために何かできることはないか」という声が上がリ、「日本語交流部」が立ち上がりました。当時の綾部市内の外国人住民は400人ほどで、参加者は企業の研修生や日本人と結婚された方が中心でした。

Q2 日本語交流部の取り組みについてもう少しお聞かせいただけますか。

教室開始当初は参加者がほとんどおらず、ボランティアが駅やスーパーで外国人の方に直接声をかけて参加を呼びかけました。当時は近隣地域に日本語教室がほとんどなく、亀岡、福知山、舞鶴など隣接地域からも学習者が通ってくるようになりました。十数名のボランティアと共に、創立時に掲げた「交流を主とし、日本の文化を押しつせず、身近な隣人として付き合う」という理念を大切に、七夕などの日本の文化紹介も取り入れながら交流を続けました。

Q3 教材や学習内容で、特に工夫した点はありましたか。

使用教材にも工夫を重ねてきました。学校に通う子どもを持つお母さんには、学校生活に密着したテーマの教材を使うと、大変喜ばれました。一方で、丁寧できれいな日本語を大切にして学習して

いたお母さんが、実際の子育て場面で困った経験もありました。子どもの友達が遊びに来た時に「手をきれいに洗ってください。おやつを出しますから」と優しく声をかけても、誰も反応せず、はしぎが続いていたのです。たまたま居合わせた私が思わず「早く手を洗ってきなさい!」と少し強めに言うと、みんなパッと動き出しました。学習と実生活のギャップを実感した出来事でした。このように試行錯誤しながら、一人ひとりに合った交流の形を模索しています。

Q4 学習者や外国人住民の変化によって、新たに見えてきた課題とは?

現在では、技能実習生やエンジニア、特定技能の方など、学習者の背景が多様化し、国籍もベトナム、インドネシア、ポーランドなど多岐にわたります。綾部市に暮らす外国人住民は800人を超え、25年前の2倍以上に増加しています。

こうした中、特に就労者の家族で来日した方への支援が大きな課題となっています。なかでも女性の場合、日本語がわからないまま妊娠・出産・子育て期を迎え、不安を抱えながら生活するケースも少なくありません。言葉の習得には時間がかかるため、自国でのキャリアを生かせず、単純労働に就く場合も多くあります。そうした中で、日本で育ち、日本語を自由に使えるようになった子どもとのコミュニケーションに困難が生じることもあります。

Q5 これからの活動において特に意識していきたいことはありますか?

設立から25年が経ち、ボランティアも高齢化により減少する中で、外国人住民の状況も大きく変化してきました。今後は、日本語がまったくわからない方への対応や、地域に点在する外国人住民へのアプローチなど、実情に合った新たな支援のあり方を考えていく必要があると感じています。



2024年8月、「外国の人とそれぞれの文化を大切にしながら話そう」と呼びかけて行われた行事
(綾部市長、市議会議長、幼稚園関係者等が参加)

JICA京都デスク 着任の挨拶

はじめまして。JICA京都デスクの千野 美沙希(ちの みさき)と申します。
JICA海外協力隊として、サモアに理学療法士として派遣されていました。
現地では、障害児の訪問リハビリテーションや支援学校で働くスタッフに
小児理学療法の知識や技術を伝える活動を主に行っていました。
サモアは海や自然がとても綺麗な南の島国です。サモア人はフレンドリー
でユーモアがあり、とても愛情深いです。サモアでの生活は驚きの連続でしたが、2年経つ頃には心地よく感じていました。2
年間を通して、日本との違いや世界の人々の多様性や世界の課題を学びました。
私の仕事はJICAの様々な事業を活用して、府民の皆さまの国際協力への興味と理解が深まるよう、調整するお仕事です。JICA
の事業や国際協力に興味のある府民の皆様、自治体、企業、団体、教育機関等、どなたでも、まずはお気軽にご相談ください。
これから、サモア人のように沢山の方々と繋がりを作っていきたいと思っています。京都と世界をつなぐ架け橋として、沢山の
方々にお会いできることを楽しみにしています！

☎ TEL … 080-8506-3714 ✉ E-mail … jicadpd-desk-kyotofu@jica.go.jp



活動先の支援学校の生徒と一緒に世界女性デーのイベントに参加

相談窓口Q&A

相談事例

Q 技能実習3年を修了後、日本に留学目的で再入国することは可能ですか？

A 実習終了後すぐの再入国は、入国審査で慎重に判断される傾向があります。
特に、留学の必要性や実習との関連性が不明確な場合、「就労目的ではないか」と疑われることがあります。
十分な帰国期間と明確な学習計画があることが重要です。

外国人支援についてお困りのことなど
お気軽にご相談ください

☎ TEL : 075-681-4800

京都府多言語生活相談



外国人支援者向け研修情報(法テラス)

外国人支援に関わる方であれば、誰でも登録可能です。無料でオンライン研修を受講できます。興味のある方は、下記サイトより詳細をご確認ください。

法テラス/外国人支援

<https://www.houterasu.or.jp/site/jichitaifukushi-gaikokujin/seminar-content.html>

～賛助会員を募集しています～

当センターが実施する様々な地域国際化事業や団体運営の財源に充てるため、趣旨にご賛同いただける皆さまを対象に賛助会員を募集しています。

【会費】 個人会員／年額 1口 3,000円
 団体会員／年額 1口 10,000円

【特典】 ・センター情報誌など定期刊行物の送付
 ・当センター主催の各種講座等への優先参加
 ・当センター内の有料スペースを会員料金で利用可能
 ・他団体との提携による会員特典

入会方法など詳しいことはHPをご覧ください。

www.kpic.or.jp/about/sanjo.html



パスポート写真撮影のご案内

パスポートの規格に合った写真を責任を持って撮影します。

【場 所】 京都駅ビル8階

(京都府旅券事務所の隣に併設)

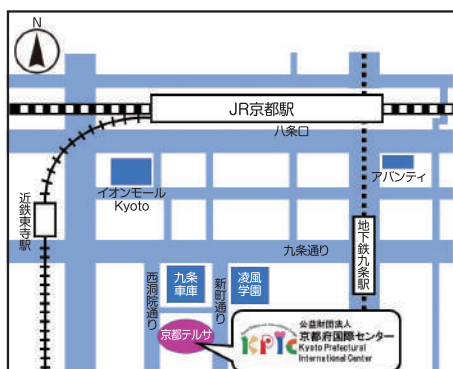
【営業時間】 月曜日～金曜日 9:00～16:30

【撮影料金(税込)】

2枚 1,800円／4枚 2,300円／6枚 2,800円

【お問い合わせ】

TEL 075-342-5002



公益財団法人京都府国際センター

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ東館3階

Tel : 075-681-2500

Fax : 075-681-2508 E-mail: main@kpic.or.jp

www.kpic.or.jp

facebook www.facebook.com/kpic.kyoto

開館時間／午前10時～午後6時

休館日／火曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

公益財団法人京都府国際センター NEWS Summer 2025 夏号105号

編集・発行／公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center

